

平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月10日

上場会社名 株式会社ホットランド 上場取引所 東
 コード番号 3196 URL http://www.hotland.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐瀬 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 高橋 謙輔 TEL 03 (3553) 8118
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	22,848	14.0	1,154	△10.3	1,124	△15.4	531	△29.0
26年12月期第3四半期	20,038	—	1,287	—	1,328	—	748	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 520百万円 (△31.2%) 26年12月期第3四半期 756百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	29.23	28.53
26年12月期第3四半期	45.79	44.28

(注) 1. 当社は、平成26年8月8日付で普通株式1株につき700株の株式分割を行っております。また、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(注) 2. 当社は平成26年9月30日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から前第3四半期連結会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	14,875	4,530	29.5	239.30
26年12月期	15,075	3,912	24.7	206.44

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 4,383百万円 26年12月期 3,721百万円

(注) 当社は、平成26年8月8日付で普通株式1株につき700株の株式分割を行っております。また、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産金額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,419	11.1	1,902	6.6	1,836	△10.5	1,000	6.1	55.48

（注）1. 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

（注）2. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	18,319,600株	26年12月期	18,028,400株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	ー株	26年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	18,167,236株	26年12月期3Q	16,342,963株

（注）当社は、平成26年8月8日付で普通株式1株につき700株の株式分割を行っております。また、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和策等を背景に企業業績や雇用環境が改善し、景気は緩やかな回復基調をもって推移いたしました。成長鈍化が顕著となった中国経済や不安定なEU諸国情勢など、海外経済等の動向による国内景気への影響が懸念されております。

外食産業界におきましても、円安に伴う原材料価格の高騰や、人手不足に伴う人件費等のコスト上昇もあり、業界全体として厳しい状況で推移しております。

このような状況下の中、当社グループは当第3四半期連結累計期間も引き続き、食の安全を最重要視するとともに、店舗でのQSCの向上を図りながら積極的に新規出店を強化し売上拡大へ向けた施策を行ってまいりました。

主力ブランドの「築地銀だこ」では、夏休み期間限定キャンペーンである「築地銀だこ夏の陣」、「8月8日の銀だこの日」等を始めとした各種キャンペーンによる積極的な販売促進活動が功を奏し、既存店の客数及び客単価とともに前年同期を上回ることができました。また、新メニューの導入、各種テレビ・雑誌等でのPR活動もあり、売上高は堅調に推移いたしました。「銀だこハイボール酒場」におきましては、東京都の吉祥寺駅北口駅前に「吉祥寺ハモニカ横丁店」を出店し、またアルコールに合うメニューの積極的な開発やグランドメニューの変更等により売上高増加に貢献いたしました。

「銀のあん」では、通常商品の販売に加え、「BORUTO-NARUTO THE MOVIE-」の公開を記念した「BORUTO - NARUTO THE MOVE - 」とのコラボ商品「NARUTO - BOX」を販売いたしました。また、夏場の新商品として「クロワッサンたい焼アイス」を販売したほか、9月6日には「クロワッサンの日！」として新商品の導入及びお客様還元セールを同時に行いました。

「COLD STONE CREMERY」では、新たなコンテンツであるアイスキャンディーの開発・販売を行い、東京ソラマチやルミネエスト等各地で積極的に催事店舗を出店し、売上に大きく貢献いたしました。また、「銀のあん」と同じく「コールド・ストーン・クリーマリー×BORUTO-NARUTO THE MOVIE-」コラボレーション商品の第1弾「NARUTOクーリーズ&タンブラー」、第2弾「NARUTOクーリーズ&ポストカード」の販売を行ったほか、「楽天 お買いものパンダ」とコラボレーションした商品を販売いたしました。

当社の連結子会社であるL.A. Style株式会社が展開する「The Coffee Bean & Tea Leaf」につきましては、イオンレイクタウンMori店等3店舗をオープンいたしました。一方、出店スケジュールが計画より遅延したことに伴い、立上げコストが増加し売上原価及び販売費及び一般管理費の増加要因となりました。

海外事業の展開につきましては、韓国及びタイ王国における「クロワッサンたい焼」のフランチャイズ展開により売上及び利益に大きく貢献いたしました。香港におきましては、連結子会社であるWAEN International Limitedが、目黒区自由が丘を拠点とし、新千歳空港で大ヒットした北海道発の焼きたてチーズタルト専門店「BAKE」の初の海外店を香港老舗百貨店「SOGO Causeway Bay」に出店し、行列が絶えないなど大きな反響を呼び、好調なスタートを切りました。また、米国ハワイ州において、「築地銀だこ」をはじめとする当社の保有するブランド展開、及び世界各国から来訪する観光客や現地住民をターゲットとした世界中のソウルフードを提供する「STREET FOOD STADIUM」の運営を目的としてHL.Honolulu LLCを設立いたしました。

当社の主要な原料であるたこの調達強化の取組につきましては、将来的な原料の安定調達、加工コストや為替の変動リスクの低減、そしてカントリーリスクの分散化等を目的として7月21日に西アフリカ・モーリタニアにおける合弁会社設立を設立することを決議いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は22,848百万円（前年同期比14.0%増）となりました。営業利益につきましては、円安による原材料価格の上昇や人件費の上昇の影響等により1,154百万円（前年同期比10.3%減）となり、経常利益につきましては、営業利益の減少に加え、前年同期と比較し支払利息が減少した一方、為替差益が減少したため、1,124百万円（前年同期比15.4%減）となりました。四半期純利益につきましては、不採算店の閉鎖に伴う固定資産除却損および店舗整理損特別損失を計上したことなどから531百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて200百万円減少し、14,875百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が620百万円減少し、現金及び預金が209百万円減少した一方、建物及び構築物が613百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて818百万円減少し、10,344百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が864百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて618百万円増加し、4,530百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益531百万円の計上、新株予約権の行使による資本金及び資本準備金それぞれ36百万円の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月10日発表の通期連結業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日公表分。以下「退職給付適用指針」という。）を退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,591千円減少し、利益剰余金が1,024千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,832,570	1,623,246
受取手形及び売掛金	2,239,898	1,619,469
たな卸資産	1,508,237	1,407,332
その他	832,775	858,226
貸倒引当金	△20,000	△14,000
流動資産合計	6,393,481	5,494,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,735,333	4,349,185
その他(純額)	1,109,094	1,362,291
有形固定資産合計	4,844,427	5,711,477
無形固定資産		
のれん	737,282	642,513
その他	128,891	132,662
無形固定資産合計	866,173	775,176
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,928,675	2,119,806
その他	1,048,113	779,256
貸倒引当金	△5,444	△4,820
投資その他の資産合計	2,971,345	2,894,243
固定資産合計	8,681,947	9,380,897
資産合計	15,075,428	14,875,173
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,265,844	1,007,082
短期借入金	921,340	1,519,120
1年内返済予定の長期借入金	1,222,788	1,242,780
未払法人税等	400,430	292,853
賞与引当金	56,474	135,510
資産除去債務	4,406	1,433
その他	2,144,773	1,849,050
流動負債合計	6,016,056	6,047,830
固定負債		
長期借入金	4,123,624	3,259,511
資産除去債務	444,501	458,612
退職給付に係る負債	45,998	44,315
その他	532,961	534,570
固定負債合計	5,147,084	4,297,009
負債合計	11,163,141	10,344,840

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,628,294	1,664,694
資本剰余金	1,520,794	1,557,194
利益剰余金	573,950	1,105,349
株主資本合計	3,723,040	4,327,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,076	3,320
為替換算調整勘定	△813	34,620
退職給付に係る調整累計額	△3,524	△3,753
繰延ヘッジ損益	-	22,426
その他の包括利益累計額合計	△1,262	56,613
少数株主持分	190,509	146,480
純資産合計	3,912,287	4,530,333
負債純資産合計	15,075,428	14,875,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	20,038,485	22,848,299
売上原価	7,475,125	8,804,134
売上総利益	12,563,360	14,044,164
販売費及び一般管理費	11,275,780	12,889,574
営業利益	1,287,579	1,154,590
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,051	801
為替差益	88,123	9,420
その他	23,959	18,751
営業外収益合計	114,134	28,973
営業外費用		
支払利息	40,699	28,183
株式交付費	11,635	1,755
株式公開費用	6,804	16,195
その他	13,601	13,226
営業外費用合計	72,741	59,360
経常利益	1,328,972	1,124,203
特別利益		
固定資産売却益	14,073	-
出資金売却益	-	54,894
特別利益合計	14,073	54,894
特別損失		
固定資産除却損	40,439	85,472
店舗整理損失	75,059	56,621
子会社株式売却損	39,524	-
減損損失	-	24,642
その他	12,708	-
特別損失合計	167,732	166,736
税金等調整前四半期純利益	1,175,313	1,012,361
法人税、住民税及び事業税	296,108	499,198
法人税等調整額	136,082	50,165
法人税等合計	432,191	549,363
少数株主損益調整前四半期純利益	743,121	462,997
少数株主損失(△)	△5,160	△68,029
四半期純利益	748,282	531,027

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	743,121	462,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△390	243
為替換算調整勘定	13,834	35,274
退職給付に係る調整額	-	△228
繰延ヘッジ損益	-	22,426
その他の包括利益合計	13,444	57,715
四半期包括利益	756,566	520,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	761,726	588,743
少数株主に係る四半期包括利益	△5,160	△68,029

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)
当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)
当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。